



# 4公立園で2歳児保育と 午前7時半～午後6時まで拡充

## 共産党と市民の運動で

長年の懸案だった公立保育園の長時間保育の拡充と2歳児からの実施が、平成30年度から実現されます。

日本共産党は山口はるみ議員が、9月議会一般質問で公立4園の0歳児保育、の標準保育11時間の実施を求めました。

市は、8月29日の子ども子育て会議の中間見直しで拡充を決めました。現行8時間保育の羽久手、築山保育園。10時間保育の天道、日進保育園とも、来年度から午前7時半から午後6時まで。対象年齢も2歳児からと拡充します。

## なぜ？10時間半、

## 2歳児からなのか

市はいったん決めると、なかなか改革しません。なぜ11時間を10時間半に、0歳児を2歳児からにしたのでしょうか？

	H29		H30～		8月15現
	対象	保育時間	対象	保育時間	入所率%
羽久手	3歳児	A8~P4	2歳児～	A7:30~P6	60
築山	3歳児	A8~P4	2歳児～	A7:30~P6	66.7
天道	2歳児	A8~P6	2歳児～	A7:30~P6	88.7
日進	3歳児	A8~P6	2歳児～	A7:30~P6	80.6
鷺塚	0歳	A7:30~P7	今までと同じ		100
新川	0歳	A7:30~P7			99.1
荒子	0歳	A7:30~P7			96.9
西端	0歳	A7:30~P7			97.1
大浜	0歳	A7:30~P7			92.5
棚尾	0歳	A7:30~P7			92.8

来年度から対象年齢、保育時間拡充の4公立園

平成20年から社会福祉協議会に移行し民営化した5保育園は、移行と合わせて、すべて0歳児11時間半の保育時間にしました。どこも入所率90%以上の大盛況です。「私立保育園を圧迫する」「地域のニーズがない」という市当局の言い訳をこっぴどくつがえしたのです。

世論を反映して一歩前進させたものの、中途半端な市長の姿勢は歴然です。

## 保育料も11時間基準に正せ

2歳児から、10時間半の保育に前進させたものの、保育料は相変わらず8時間をこえると1時間ごと5%増しのままです。標準保育11時間となったため「長時間」という概念はなくなりました。他市は、延長保育料として、知立市月500円。高浜市月1300円としています。碧南市は長時間保育料として総額1515万円814人(46.2%)から取り立てています。さらに、3歳未満児と3歳以上児の2区分にして4、5歳児の保育料を引き上げています。衣浦5市の中で、4市は3区分で4・5歳児保育料を低く設定しています。

## 子育て一番の碧南市に

碧南市は、平成28年10月1日現在の愛知県統計数字を見ても、1年間に生まれる赤ちゃんの人数が少なくなっています。あらゆる子育て支援を行っても足りません。100点満点をめざさず中途半端なところにとどまっている場合ではありません。引き続き、決算審査で保育行政の前進と子育て支援の拡充を求めて日本共産党は奮闘します。

H28.10現	出生数(人)	比率
碧南市	549	7.7
安城市	1827	9.9
刈谷市	1637	10.9
知立市	701	9.9
高浜市	429	9.2

## 産業振興基本条例で 大企業の社会的責任を

碧南市の事業者総数3242件、うち5人未満は1898件59%です。

日本共産党は、小規模事業者の仕事おこしと経済効果をもたらす住宅リフォーム、店舗リニューアル補助制度を求めました。住宅リフォームに2千万円。店舗用に1000万円。県下4位の財政力。法人税12.1%にすれば7億円増収になるのに「やらない」と繰り返す碧南市当局。トヨタ、中電に頭が上がらないのかと勘ぐります。トヨタ自動車衣浦工場は、平成28年度から、やっと法人税均等割300万円に復活しました。それまでたった12万円しか均等割を納めず、10年近くも優遇策を受けていたのです。そのうえ7億円も、取れる税金を請求しないなんて!! ぜったいおかしい!!

## 法人税率全国並みにすれば年7億円の増収に

9月12日の本会議4日目、日本共産党の平成28年度決算の質疑にこたえて総務部長は「現行の法人市民税率は9.7%だが、最高税率の12.1%にすると7億円の増収になる」と答弁しました。7億円あれば、小中学校のエアコン、エレベーターがつけられます。全学年の35人学級も可能です。6000万円のできる18歳までの医療費無料化も朝飯前です。

## 全国11位県下4位の豊かな財政力

また、平成28年度決算の財政力指数は1.283です。全国では碧南市のような不交付団体が76団体あり碧南市は11位。愛知県では不交付団体11団体で、碧南市は4位と明らかにしました。「財源がない」なんて絶対言わせるものですか。

# 9月議会 日本共産党の一般質問

# グランドゴルフ場を提案

## 川口町河口堰予定地に防災拠点が実現

**磯貝 明彦 議員**

1、矢作川河口堰跡地について

元矢作川河口堰跡地に、国が防災拠点施設を平成30年度以降に設置すると地元説明会を開いた。平時にグラウンドゴルフ場の設置を。

何を設置するかは今後検討する。

碧南市は同報無線が20基と少ない。

国消防庁が個別受信機普及を推進している。碧南市も導入を進めていただきたい。

費用対効果を踏まえながら調査・研究をしていく。

2、動物愛護について

犬猫などの殺傷・遺棄・虐待は警察の管轄で懲役・罰金刑が科せられる。警察と連携して啓発をやるべきではないか。

警察からの依頼があれば公報などに啓発を検討する。

神戸市のように「人と猫が共生できる町づくり条例」を制定し、野良猫を減らしていく地域猫対策を求める。

現在のところ考えていない。

3、自動車運転免許証自主返納者に対する特典について

高齢者の自動車免許証返納時に、電動四輪車・電動アシスト自転車の購入補助制度を。

昨年高齢者の返納は129件あった。県では店舗割引の制度もあるので、市で補助する考えはない。

温室効果ガスの削減にも効果があり、蒲郡市のようにエコのためにも補助制度の実施を。

補助する考えはない。

**岡本 守正 議員**

1、パリ協定は2030年までに石炭火力発電をゼロにするために、自然エネルギーの取組みを

武豊火力発電所に対して国は、総排出量の抑制なしでは許可しないとの方向。碧南市長の意見書提出にもなう。碧南石炭火力発電所をLNGへのエネルギー転換を求めざるべきでは。

一企業にコメントできない。

太陽熱温水器への補助は、県下10市3町が実施している。刈谷、知立、安城市も行い安城市は上限8万円である。これくらいなら碧南市でも実施できる。

県補助のものだけに限定しているのでやらない。

水族館について

ビオトープははじめとするリニューアルの工程は。

今年度中に、ビオトープ完成。平成30年度は、休ませるとともに、エントランス建物内の詳細設計で31年度末に完成めざす。

食堂の活性化、科学館有料化、雨の日の団体客の休憩室確保は。

食堂は、フードコートのものに西側園路からの利用も考える。雨よけ休憩場所は今回できない。今後に。

子ども・若者支援について

碧南市では、若者人口で推計したニート456人。うち340人がひきこもりと予想される。

サポートステーションは、ニートのみで引きこもりは入らないために116人が支援対象となる。今は、安城市の若者サポートステーションで平成28年度に仕事探し5人。ジョブ支援で52人。臨床士のサポートで2人と延べ59名がお世話になっている。碧南市にも、相談窓口やサポートステーションが必要ではないか。

現在考えていない。居場所としては、あいくる内の「ころころ」がある。

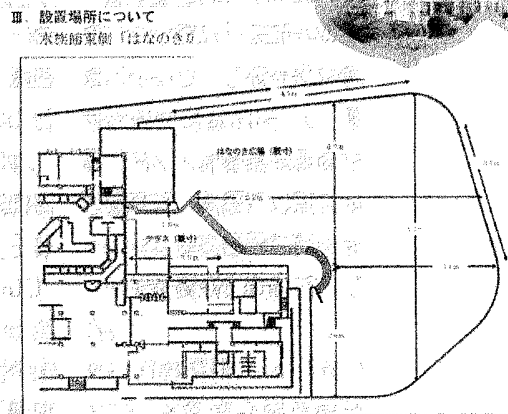
人	15~39歳	ニート数	ひきこもり数	支援者数
自治体		* 1 (2.1%)	* 2 (1.57%)	* 3
碧南市	21,717	456	340	116
安城市	58,337	1,225	915	310
刈谷市	50,651	1,063	795	268
知立市	23,381	491	367	124
高浜市	15,257	320	239	81

\* 1は2016年子ども若者白書より。\* 2は2015年内閣府調査

### りっぱな基本構想をつかったのに

ねぎた市長は、費用対効果、コスパ第一で何でも中途半端。雨よけ施設もめど立たず

碧南海浜水族館・青少年海の科学館リニューアル構想(案)



IV. 予算について

1. 平成28年度 基本設計及び建築設計費 7,850千円

2. 平成29年度 施設設置工事費 78,540千円

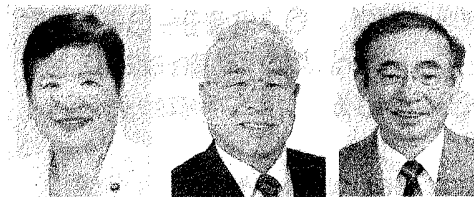
※本館のトランス改修工事は別途

**平成24年度につくられた基本構想のまとめ**

本計画は、当館が開館40周年を迎える平成34年(2022)までの10年以内を見据えたリニューアル構想の一部を設置するものである。今後は、優先順位に応じた既存館内展示や施設外構関係等既存施設の補強及び刷新を進めると共に、①キッズアクアリウム、②多目的ホール・アメニティ施設等の新規建物関係について計画を進め、これまで現施設において果たしてきた教育・自然保護の他、市民に認められてきた数々の社会的役割を継続して果たしていきたいと考えている。

9月20~26日 世界に広がれ **核兵器禁止「平和の波」**

### 日本共産党碧南市議員団



山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦  
 ☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718  
 三度山町2-70-4 笹山町6-29 若松町3-253